

日ごろの備えは十分ですか

災害はいつ起こるかわかりません。被害を最小限に抑えるためには、日ごろの備えや心構えが大切です。

区では、家具類の転倒・落下防止器具や感震ブレーカー設置に対する助成等、さまざまな防災の取り組みを行っています。

この機会に、災害への備えについて改めて考え、行動しましょう。

問合せ

防災課防災事業係
☎内線418

電子レンジ等を固定するための粘着マット



棚等を固定するためのL字金具



4・5面でさまざまな災害から命を守るための対策を紹介します

▶地域が一丸となって災害に立ち向かうために

しかし、災害時において最も大きな力を発揮するのは、区民の皆様のご協力です。区民の皆様には、7日分(最低3日分)の備蓄や、地震から命を守るための家具転倒防止対策の実施等、日ごろからの備えを万全にしたいと、避難所開設運営訓練に参加する等、災害時に地域の皆様が助け合える体制づくりにご協力ください。

区では、これからも地域が一丸となって災害に立ち向かうために尽力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

その一例として、9月上旬から大規模地震発生時の通電火災を防ぐ感震ブレーカーおよび自動点灯ライトの高齢者世帯等への無料配付を開始します。

また、更なる救護体制の強化を図るため、区内の24時間営業のコンビニエンスストアすべてにAEDを順次設置しているところで

本年6月の大阪府北部で発生した震度6弱を観測する大地震に続き、7月には西日本全域において大規模な豪雨が発生しました。

多くの尊い命が失われ、甚大な被害が生じたことに衷心より哀悼の意を表しますとともに、今なお避難生活を送られている方に心よりお見舞い申し上げます。

区では、「災害で一人の犠牲者も出さない」という決意のもと、さまざまな防災の取り組みを進めてまいります。



荒川区長・特別区長会長
にしがわ たいいちろう
西川 太一郎